

志村大宮病院 看護職員負担軽減計画(令和6年度)

【看護職員の勤務状況(R6.3)】

1. 病院規模	稼働病床 178床(一般病棟60床 緩和ケア病棟20床 回復期リハビリ病棟50床 医療療養病棟48床)
2. 看護職員数	看護師:常勤 96名 看護補助者:35名(技能実習生2名)
3. 超過勤務時間(R5)	1人あたり 平均6.27時間/月

【評価方】

1. 9月11月3月に部署内で評価
2. 年度末に負担軽減計画の達成状況の評価および計画の見直しを実施

【目的】

看護職員の負担を軽減し効率的で良質な医療サービスの継続的提供を図るために、看護補助者を含めた各職種の適正な人員配置・役割分担を明確にし、業務を遂行する

【目標】

- ①看護職員と看護補助者の業務分担を改善し、協力・連携体制を強化する
- ②関係部門の業務分担を改善し、連携・協働体制を強化する
- ③看護補助者の研修棟の教育・育成体制を見直し、患者に係る医療知識を得スキルアップを図る

【業務分担について】

■ 実施 ▲ 一部実施 □未実施

部門名	現状・問題点	R6年度取り組み目標	具体的実施内容	達成項目			備考
				R6.9月	R6.11月	R7.3月	
看護補助	入院患者の高齢化により認知症患者の対応が困難である	看護補助者の協働で認知症患者の対応やケアの負担軽減ができる	・看護補助者に高齢者や認知症に関する院内研修受講や、看護補助者研修で認知症を組み込み、入院生活や身体の世話について看護師と協働体制づくりをする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	雑務が多く看護業務に集中できない	看護業務以外で看護補助者でも可能な業務を分担する	・看護補助者が離床計画表の入浴時間を看護補助が入力しリハスタにアップする ・看護補助者がアメニティの管理をする ・アメニティ以外の患者の荷物が不足した時に看護補助者が家族に連絡する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
栄養部門	食事内容や食事形態、食量などの変更があった時の情報共有が不十分なことがある	個人に合わせた食事内容や食事形態、食量などを提案し情報を共有する	・ミールラウンドや検査値をみて、食事内容の提案をする ・カンファレンスへ参加し情報の共有 ・電子カルテへの代行入力 ・食事に関わる内容について、看護補助者への研修会に参加し講師として情報提供	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
薬剤部門	看護師人員不足のためIVH混合調整に時間を割けない	安全な点滴準備・ミキシングが実施できる	点滴・CV実施者が多く看護師の負担が増大している。翌日のチェック、ミキシング前のダブルチェック、ミキシングなどの作業の分担を行い、安全で効率的な業務分担を目指す。 事前のダブルチェックの負担軽減のため、薬局での点滴準備時にダブルチェックを確実に行ってもらい、1人分ずつに分けて病棟に払い出せるよう調整を図っていく。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
検査部門	健診・ドックの需要が高まり、採血件数が大幅に増加している。外来看護師だけでは対応が難しい状況	臨床検査技師の採血対応人数と技術向上	健診・ドックの採血はタスクシェアからシフトに移行できるよう採血人数を集計し、実施割合や実績として記録する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	診療報酬改定に伴い、生活習慣病Ⅱを算定する患者に対し、身長体重等の計測が必要となり現場の負担増	生活習慣Ⅱ算定の患者の身体計測の対応	外来科と協力・検討し、測定者の明確化や計測した際の実施確認方法を決定し測定・運用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
事務部門	看護師で45時間以上の時間外はない	本人の意向を確認した配置と働き方の提案	・育児短時間制度を小学校入学まで延長可 ・半日休暇や時間有給制度 ・年に1回看護師意向調査の実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

【業務分担以外】

取り組み項目	現状	R6年度取り組み目標	具体的実施内容	達成項目			備考
				R6. 9月	R6. 11月	R7. 3月	
看護補助者の配置	ペットメイキング、物品の運搬・補充等業務負担が大きく看護業務に集中できない	看護補助者の増員	看護補助者採用継続	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		看護補助者教育の充実	教育委員会が計画	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		業務分担	業務見直し	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
多様な勤務形態の導入	勤務時間が柔軟であれば勤務可能な看護師がいる	多様な勤務形態を導入	看護師の希望を確認し調整する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
妊娠・子育て中看護職員に対する配慮	本人の希望を確認し実施してる	夜勤の減免	希望により適応。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		育児短時間勤務制度					
		休日勤務の減免					
		院内保育(夜勤を含む)					
夜勤負担の軽減	妊産婦・時短勤務が多く夜勤ができる看護師の負担になる	夜勤従事者の増員	看護師採用継続	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		長時間夜勤の是正	一般病棟以外も1人あたり72時間				
超過勤務の縮小	令和6年2月分まで 超過勤務平均6.27時間	業務見直し	効率的業務遂行できるように業務を見直す	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
器機による負担軽減	一部の病棟が手動ペットのため上げ下げやギャッチアップ時に負担がかかる、	ペット又は負担がかからないような器機を導入する	必要な機器を選定する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	